

- 宇美町では、森林環境譲与税活用の初年度となる令和元年度から令和2年度にかけて、木材の普及・啓発活動に譲与税を利用してきた。公共施設内設備を木質化することにより、森林整備に対する理解の醸成に取り組んだ。
- 令和3年度においては、以下の取組を行い森林整備の促進につなげた。
 - ・ 家屋に隣接する私有林危険木について、自治会からの要望をもとに危険度を判定し、優先順位を決めた上で伐採を実施した。
 - ・ 町内私有林のうちモデル地区として約68haを選定し、森林経営管理制度の実施に向けた準備作業として意向調査を行った。
 - ・ 私有林の所有者から提出された伐採届と所有者変更届について、固定資産情報と一括管理できるよう林地台帳システムに反映した。
- 令和4年度においては、引き続き危険木伐採、林地台帳システムへのデータ反映を実施し、森林整備を進めていくとともに、森林経営管理意向調査の長期計画を作成し、計画的な調査を実施するための基礎資料を作成する予定とする。

□ 事業内容

1 危険木伐採事業

- ・ 家屋に隣接する私有林危険木について、自治会からの要望をもとに現地確認を実施し危険度を判定する。その後、要望箇所の優先順位を決めた上で、森林所有者と協定書を締結し、伐採を実施した。

【事業費】 1,903千円（うち譲与税1,903千円）

【実績】 伐採面積A=160㎡



（事業1：着工前）



（事業1：施工状況）



（事業1：竣工）

2 森林経営管理意向調査事業

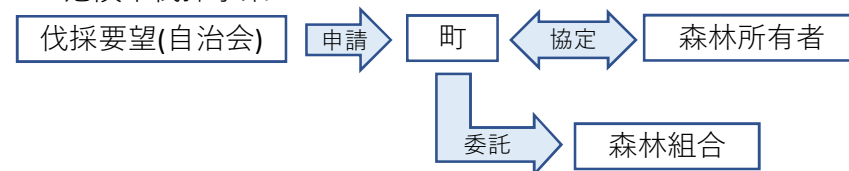
- ・ 町内私有林のうちモデル地区として約68haを選定し、森林経営管理制度の実施に向けた準備作業として意向調査を行った。

【事業費】 286千円（うち譲与税286千円）

【実績】 調査面積A=約68ha

□ 事業スキーム

1 危険木伐採事業



2 森林経営管理意向調査事業



□ 工夫・留意した点

- ・ 1の事業においては、危険木の危険性を点数付けて優先順位を決めることができるように、事業実施前に配点表やHP公表資料を作成し、事業内容を決めてから実施した。

□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	4,076千円
②私有林人工林面積（※1）	427.00ha
③林野率（※2）	59.9%
④人口（※3）	37,671人
⑤林業就業者数（※4）	0人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より

※4：「H27年国勢調査」より